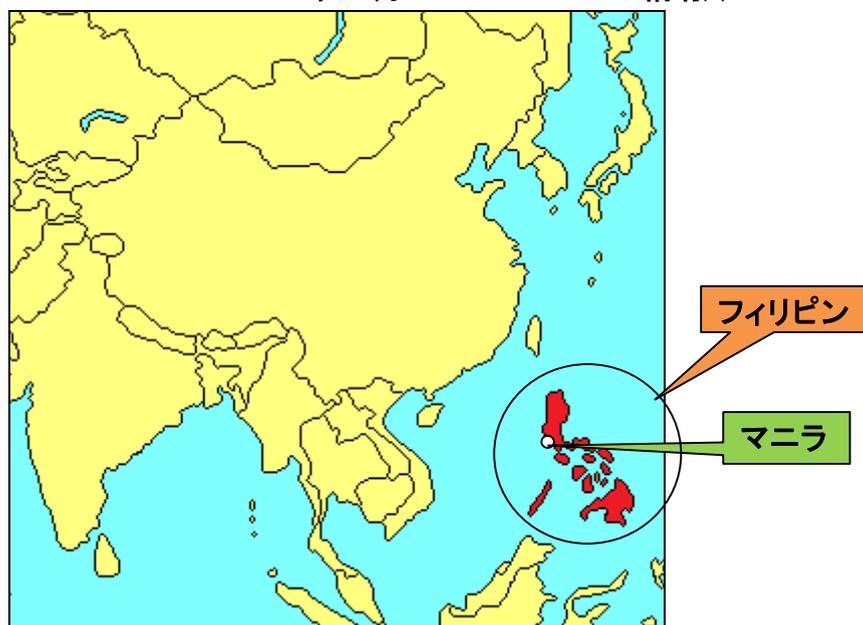


## フィリピンでレプトスピラ症が流行

2011年7月16日 ProMED 情報(Examiner.com)



洪水の影響のため、フィリピン全域でレプトスピラ症の患者数が急激に増加しています。マニラ市のサン・ラサロ San Lazaro 病院では、7月1～12日の間に37名の患者と6名の死亡患者がありました。ABS-CBNニュースによれば、同国健康省担当者は、2011年は、7月1日までに合計521名の患者の報告があり、そのうち38名が死亡患者であると述べたということです。

レプトスピラ症は主にネズミの尿を介して、汚染された水から経口・経皮的にヒトに感染します。軽症例では風邪と似た症状でやがて回復しますが、重症例では、引き続いて、腎不全、肝不全、髄膜炎をおこし、ワイル病と呼ばれます。発病初期であれば、ペニシリンやドキシサイクリンの抗生剤が有効です。